

証券コード:4768

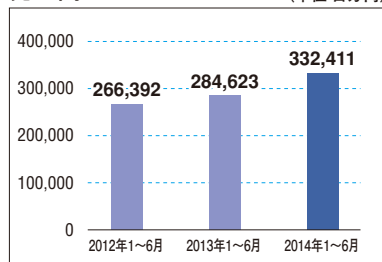
# 大塚商会だより

2014年12月期第2四半期 株主通信  
2014年1月1日～2014年6月30日

## 連結

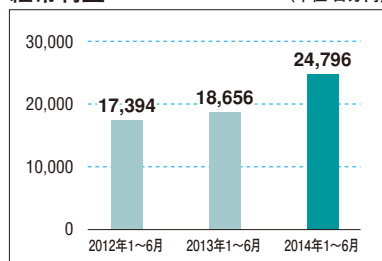
### 売上高

(単位:百万円)



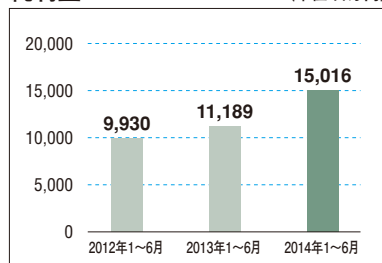
### 経常利益

(単位:百万円)



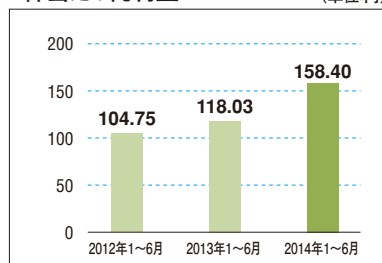
### 純利益

(単位:百万円)



### 1株当たり純利益

(単位:円)



(注) 2014年7月1日付けで、1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、2012年の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純利益を算定しています。

# ミッションステートメント

## 使命

大塚商会は多くの企業に、情報・通信技術の革新によってもたらされる新しい事業機会や経営改善の手段を具体的な形で提供し、企業活動全般にわたってサポートします。そして、各企業の成長を支援し、わが国のさらなる発展と心豊かな社会の創造に貢献しつづけます。

## 目標

- 社会から信頼され、支持される企業グループとなる。
- 従業員の成長や自己実現を支援する企業グループとなる。
- 自然や社会とやさしく共存共栄する先進的な企業グループとなる。
- 常に時代にマッチしたビジネスモデルを創出しつづける企業グループとなる。

## 行動指針

- 常にお客様の目線で考え、お互いに協力して行動する。
- 先達のチャレンジ精神を継承し、自ら考え、進んで行動する。
- 法を遵守し、社会のルールに則して行動する。



## 目次

● 株主の皆様へ	1	● 大塚商会IRサイトのご案内	9
● 事業の概況	2	● 連結財務諸表(要旨)	10
● 通期の見通し	6	● 会社の概要・役員	12
● トピックス	8	● 株式の状況	13

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

本「大塚商会だより」に記載しております業績見通しなど将来についての事項は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因があるため、その結果について、当社グループが保証するものではありません。

---

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの2014年第2四半期連結累計期間(2014年1月1日から2014年6月30日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当期間につきましては、国内経済は緩やかな景気回復の動きとなり、企業のIT投資は好調に推移しました。

当社グループではお客様との接点を強化し、お客様のコスト削減や生産性向上、節電につながる提案を積極的に行いました。

この結果、売上高は3,324億11百万円(前年同期比16.8%増)となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益242億86百万円(前年同期比24.6%増)、経常利益247億96百万円(前年同期比32.9%増)、四半期純利益150億16百万円(前年同期比34.2%増)となりました。

通期につきましては、企業のIT投資は引き続き底堅く推移すると予想されます。このような環境下において、お客様との接点をさらに強化し、お客様のIT活用ニーズ、省電力ニーズを顕在化させてまいります。2014年4月28日に修正した通期の業績予想に変更はありません。

当社グループでは今後も「ミッションステートメント」の具現化に努め、皆様の信頼に応えられるよう経営改革を進めてまいります。

株主の皆様にはより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2014年9月

代表取締役社長 大塚 裕司

## 事業の概況

### ■国内景気は回復基調で推移

当第2四半期連結累計期間(2014年1月1日~2014年6月30日)におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要とその反動の影響もありましたが、緩やかな景気回復基調で推移しました。

このような経済状況にあって国内企業のIT投資は、Windows XPの買い換え需要もありシステムの更新を中心に好調に推移し、節電対策やBCP(事業継続計画)構築などの需要についても底堅く推移しました。

### ■コスト削減、生産性向上につながる提案

以上のような環境において当社グループは、「お客様の目線で信頼に応え、総合力でオフィスを元気にする」を2014年度のスローガンに掲げ、Windows XPの買い換え需要や消費税増税前の駆け込み需要への対応を行いました。また、引き続きお客様との接点を強化し、コスト削減や生産性向上による競争力強化につながるシステム提案、節電対策に有効な提案を積極的に行いました。併せて、魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の生産性向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスの強化も図りました。

景気は緩やかな回復基調  
IT投資は好調に推移

コスト削減、生産性向上提案  
ストックビジネスの強化

## ■大幅な増収増益

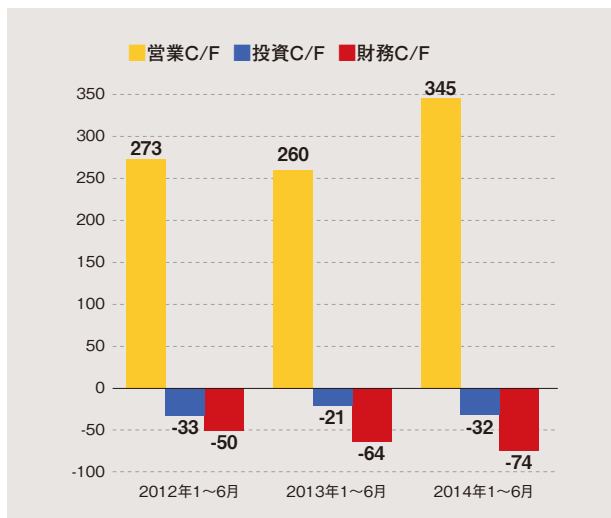
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,324億11百万円(前年同期比16.8%増)となりました。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加により、営業利益242億86百万円(前年同期比24.6%増)、経常利益247億96百万円(前年同期比32.9%増)、四半期純利益150億16百万円(前年同期比34.2%増)となりました。

(単位：百万円)

	2013年1～6月	2014年1～6月	
	金額	金額	増減率
売上高	284,623	<b>332,411</b>	<b>+16.8%</b>
営業利益	19,486	<b>24,286</b>	<b>+24.6%</b>
経常利益	18,656	<b>24,796</b>	<b>+32.9%</b>
純利益	11,189	<b>15,016</b>	<b>+34.2%</b>

## ■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純利益」が増加したことなどにより、345億79百万円(前年同期比85億24百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「ソフトウェアの取得による支出」が増加したことなどにより、32億72百万円(前年同期比11億円増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、「配当金の支払額」が増加したことなどにより、74億69百万円(前年同期比10億62百万円増)となりました。

## 四半期別の概況

### ■売上高の推移

売上高は、第1四半期(1~3月)は高伸長、第2四半期(4~6月)も増収となり、各四半期の過去最高売上高を更新しました。

第1四半期(1~3月)売上高は、1,768億94百万円(前年同期比25.8%増)となり、第2四半期(4~6月)売上高は、1,555億16百万円(前年同期比8.0%増)となりました。

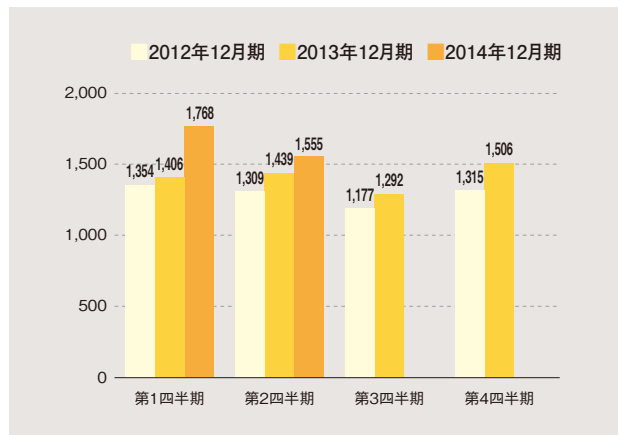
### ■経常利益の推移

経常利益については、第1四半期(1~3月)は大幅な増益となり、第2四半期(4~6月)も高伸長だった前年に対して増益を確保しました。

第1四半期(1~3月)経常利益は、124億68百万円(前年同期比93.9%増)となり、第2四半期(4~6月)経常利益は、123億28百万円(前年同期比0.8%増)となりました。

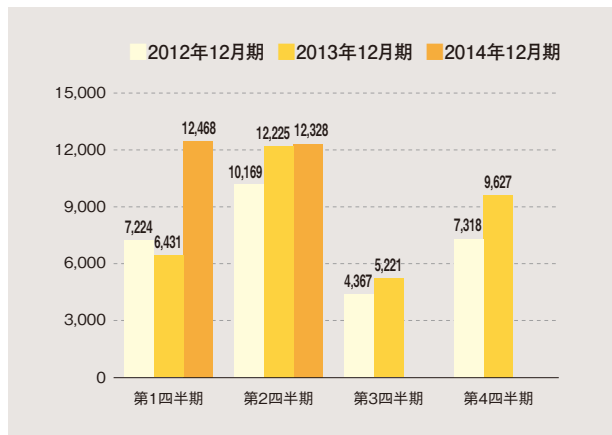
売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



## 事業セグメント別の概況

### ■システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、システム更新需要やIT投資に積極的な企業の需要を掴み、パソコン・サーバーや複写機等の販売台数を伸ばし、売上高は2,100億4百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

### ■サービス&サポート事業

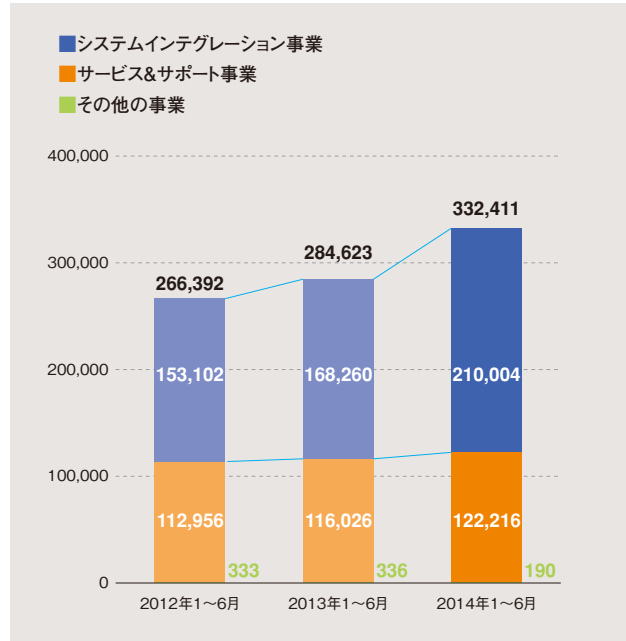
サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンスupport、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」のカタログの臨時増刊号発刊や臨時倉庫の増床を行いサプライ用品の消費税増税前の駆け込み需要を掴みました。サプライでは4月以降に駆け込み需要の反動がありました。上期で前年同期比増とし、また保守等も前年同期比増とし、売上高は1,222億16百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

### ■その他の事業

その他の事業では、売上高は1億90百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)





## 通期の見通し

### ■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、4月に実施された消費税増税の影響や海外景気の下振れにより国内景気が下押しされるリスクはあるものの、政府による経済対策の効果、輸出の持ち直し、投資の増加などが見込まれ、引き続き国内景気は回復に向かっていくことが期待されます。

このような経済環境のもとで、国内企業は景気回復に備えた生産性向上のためのシステム導入や電力コスト増に対応した節電対策と省電力機器の導入などが必要とされています。そのため、企業のIT投資は引き続き底堅く推移するものと予想されます。

### ■お客様との関係を強化

このような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループは地域密着型運営体制のもとお客様との接点をさらに強化して、当社グループの持つ総合力で複数の製品やサービスを組み合わせたソリューション提案を積極的に行い、国内企業の実業向上や電力使用量削減に対するニーズに対応していきます。そして魅力あるオフィスサプライ商品の品揃え、企業活動の実業向上や負荷軽減を支援する保守サービスメニューの開発など、ストックビジネスを強化し、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築し収益基盤の充実を図ります。また、営業活動やサポート活動の継続的な改善により、いっそうの実業向上を図っていきます。

なお、首都圏のお客様からの受注量拡大に対応するために進めてきた都内ベイエリアの大型物流センターを8月に本稼働いたしました。

### 2014年の方針と施策

『お客様の目線で信頼に応え、総合力でオフィスを元気にする』

- ストックビジネス系の商材やサービスも含めた、1～3月特需への確実な対応
- お客様との取引品目の拡大
- お客様の繁忙化を捉え、生産性向上に向けた提案
- Windows Server 2003 サポート終了に向けた更新提案

「オフィスを一番知っている会社」として  
多様な取扱い商材を活かし、お客様の目線で提案  
お客様との関係を、より太く、より強くする

(2014年2月3日発表の通期決算資料より再掲)



## ■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、企業のIT投資動向やIT活用ニーズを見極めながら、複写機、コンピュータ、電話機、回線等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進し、ワンストップソリューションの強化を図ります。また、Windows Server 2003の2015年7月サポート終了に向けて買い換え需要を喚起していきます。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、システムインテグレーション事業での成果を保守等のサービス契約増につなげ、併せてハードウェアに依存しない新しいサービスを増やします。



<http://www.tanomail.com/>

## ■通期の業績予想

通期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高6,000億円(前年同期比6.3%増)、営業利益370億円(前年同期比9.1%増)、経常利益375億円(前年同期比11.9%増)、当期純利益219億80百万円(前年同期比8.4%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業3,584億70百万円(前年同期比8.0%増)、サービス&サポート事業2,411億70百万円(前年同期比4.0%増)、その他の事業3億60百万円(前年同期比45.3%減)。

2014年4月28日に修正した連結業績予想に変更はありません。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2013年 12月期	2014年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	564,595	600,000	+6.3%
営業利益	33,901	37,000	+9.1%
経常利益	33,505	37,500	+11.9%
当期純利益	20,271	21,980	+8.4%

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2013年 12月期	2014年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	332,067	358,470	+8.0%
サービス&サポート事業	231,868	241,170	+4.0%
その他の事業	658	360	-45.3%

## トピックス

### ■「IPv6普及促進」で表彰

6月11日に、IPv6普及・高度化推進協議会より表彰されました。

これは、当社の経営陣および開発・販売現場が一体となり、顧客向けIPv6サービスの企画・開発とその市場投入を促進したこと、さらにIPv6の社内ネットワークへの積極的導入を推進したことなどが評価されたものです。



### ■株式分割を実施

「高くて買いづらい」「NISAの対象にならない」といった個人投資家の皆様からのお声にお応えし、7月1日を効力発生日として、1株につき3株の割合で株式分割を実施しました。

投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図ることを目的としています。

# 大塚商会IRサイトのご案内

当社グループの開示資料、財務情報、株式情報などをご覧いただけます。

## 株式会社大塚商会ホームページ IR情報

※掲載内容は2014年8月22日現在のものであり、変更する場合があります。

- 主な内容：
- IRニュース(適時開示情報 等)
  - IRカレンダー
  - IRライブラリ(決算短信、決算説明資料、決算説明会動画配信、有価証券報告書、アニュアルレポート、大塚商会だより 等)
  - 財務情報(連結財務ハイライト、各種経営指標)
  - 株式関連情報(株主構成、株式手続き、株主総会招集通知、株主総会決議通知 等)
  - 株価情報

The screenshot shows the Otsuka Shokai IR website. The header includes the company logo and navigation tabs: イベント・セミナー, 製品・ソリューション, サポート(お問い合わせ), サプライ(お問い合わせ), and 会社情報. The main content area is titled 'IR情報' and contains a 'IRニュース' section with a list of news items. The right sidebar has several boxes for '決算書について', '株主', '経営者へ', '会社・役員業績・業績推移', and 'IRニュース一覧'.

<http://www.otsuka-shokai.co.jp/ir/>

# 連結財務諸表(要旨)

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結会計期間末 (2013年6月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2014年6月30日)
		金額	金額
(資産の部)			
流動資産		<b>216,731</b>	<b>246,784</b>
現金及び預金		78,086	91,989
受取手形及び売掛金		95,893	103,568
その他		42,751	51,226
固定資産		<b>64,670</b>	<b>67,131</b>
有形固定資産		44,967	43,698
無形固定資産		5,088	6,396
投資その他の資産		14,614	17,036
資産合計		<b>281,402</b>	<b>313,916</b>

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結会計期間末 (2013年6月30日)	当第2四半期連結会計期間末 (2014年6月30日)
		金額	金額
(負債の部)			
流動負債		<b>140,926</b>	<b>154,666</b>
支払手形及び買掛金		78,144	74,979
電子記録債務		10,940	18,712
短期借入金		7,100	6,950
その他		44,742	54,024
固定負債		<b>5,243</b>	<b>6,344</b>
退職給付引当金		2,212	2,385
その他		3,031	3,958
負債合計		<b>146,170</b>	<b>161,010</b>
(純資産の部)			
株主資本		<b>147,059</b>	<b>163,578</b>
資本金		10,374	10,374
資本剰余金		16,254	16,254
利益剰余金		120,557	137,076
自己株式		△127	△127
その他の包括利益累計額		<b>△12,663</b>	<b>△11,636</b>
その他有価証券評価差額金		1,682	2,645
土地再評価差額金		△14,304	△14,257
為替換算調整勘定		△41	△23
少数株主持分		<b>836</b>	<b>963</b>
純資産合計		<b>135,231</b>	<b>152,905</b>
負債純資産合計		<b>281,402</b>	<b>313,916</b>

### 資産の状況

流動資産が前年同期末に比べ300億52百万円増加し、2,467億84百万円となりました。固定資産は24億60百万円増加し、671億31百万円となりました。総資産は325億13百万円増加し、3,139億16百万円となりました。

### 自己資本比率

自己資本比率は前年同期末に比べ0.6ポイント向上し、48.4%となりました。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年6月30日)
		金額	金額
売上高		284,623	332,411
売上原価		220,706	260,334
売上総利益		63,917	72,076
販売費及び一般管理費		44,431	47,789
営業利益		19,486	24,286
営業外収益		351	545
営業外費用		1,181	35
経常利益		18,656	24,796
特別利益		138	110
特別損失		122	34
税金等調整前四半期純利益		18,672	24,873
法人税等		7,405	9,760
少数株主損益調整前四半期純利益		11,266	15,112
少数株主利益		77	95
四半期純利益		11,189	15,016

### 売上高の状況

売上高が前年同期に比べ477億87百万円増加しました。

### 営業利益の状況

売上総利益の増加と販売費及び一般管理費のコントロールにより、営業利益は前年同期に比べ48億円増加しました。

### 純利益の状況

営業利益の増加、営業外費用の減少などにより、純利益が前年同期に比べ38億27百万円増加しました。

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年6月30日)
		金額	金額
少数株主損益調整前四半期純利益		11,266	15,112
その他の包括利益		1,056	354
四半期包括利益		12,323	15,467
(内訳)			
親会社株主に係る四半期包括利益		12,245	15,371
少数株主に係る四半期包括利益		78	95

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	前第2四半期連結累計期間 (自2013年1月1日 至2013年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2014年1月1日 至2014年6月30日)
		金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー		26,054	34,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,171	△3,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		△6,406	△7,469
現金及び現金同等物の増加額		17,475	23,837
現金及び現金同等物の期首残高		68,113	76,863
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		—	△60
現金及び現金同等物の四半期末残高		85,589	100,641

### キャッシュ・フローの状況

営業活動から得られた資金は、「税金等調整前四半期純利益」が増加したことなどにより、前年同期に比べ85億24百万円増加し、345億79百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、「ソフトウェアの取得による支出」が増加したことなどにより前年同期に比べ11億円増加し、32億72百万円となりました。

財務活動に使用した資金は、「配当金の支払額」が増加したことなどにより前年同期に比べ10億62百万円増加し、74億69百万円となりました。

# 会社の概要・役員

## 会社の概要(2014年6月30日現在)

商号：株式会社大塚商会  
 創業：1961年7月17日(設立：1961年12月13日)  
 資本金：10,374,851,000円  
 従業員：6,878名(連結子会社を含めた従業員数：8,365名)  
 事業内容：システムインテグレーション事業  
           コンピュータ、複写機、通信機器、ソフトウェアの販売  
           及び受託ソフトの開発等  
           サービス&サポート事業  
           サプライ供給、保守、教育支援等  
 主要取引銀行：株式会社横浜銀行  
                   株式会社三菱東京UFJ銀行  
                   株式会社みずほ銀行

## 主要事業拠点及び連結子会社(2014年6月30日現在)

本社 〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4  
           TEL.03-3264-7111(代表)  
 関西支社 〒553-8558 大阪府大阪市福島区福島6-14-1  
           TEL.06-6456-2711(代表)  
 地域営業部 中央第一営業部 中央第二営業部 神奈川営業部  
           城西営業部 多摩営業部 城北営業部 北関東営業部  
           京葉営業部 大阪北営業部 大阪南営業部  
 支店 札幌支店 仙台支店 宇都宮支店 中部支店  
           京都支店 神戸支店 広島支店 九州支店  
 連結子会社 (株)OSK／(株)アルファシステム／  
           (株)ネットワーク／(株)アルファテクノ／  
           (株)アルファネット／大塚オートサービス(株)

## 役員(2014年6月30日現在)

代表取締役社長	大塚裕司
取締役兼専務執行役員	片倉 幸一
取締役兼専務執行役員	高橋 俊泰
取締役兼上席常務執行役員	塩川 公克
取締役兼常務執行役員	塩野 尚
取締役兼常務執行役員	齋藤 廣伸
取締役兼常務執行役員	若松 康博
取締役兼常務執行役員	鶴見 裕信
取締役兼上席執行役員	広井 光哉
取締役兼上席執行役員	田中 修
取締役兼上席執行役員	森谷 紀彦
常勤監査役	中野 清郎
監査役	牧野 二夫
監査役	杉山 幹一
監査役	仲井 実

相談役 名誉会長 大塚 実

常務執行役員	山本 幸司
上席執行役員	藤野 卓悦
上席執行役員	奥水 和亮
上席執行役員	後藤 俊彦
上席執行役員	大西 雄一
上席執行役員	関谷 淳一
上席執行役員	西岡 弘一
上席執行役員	植野 治明
上席執行役員	三浦 聖
執行役員	小瀬 多夫
執行役員	本松 周
執行役員	長坂 英夫
執行役員	清野 秀治
執行役員	伊藤 健次
執行役員	尼藤 康雄

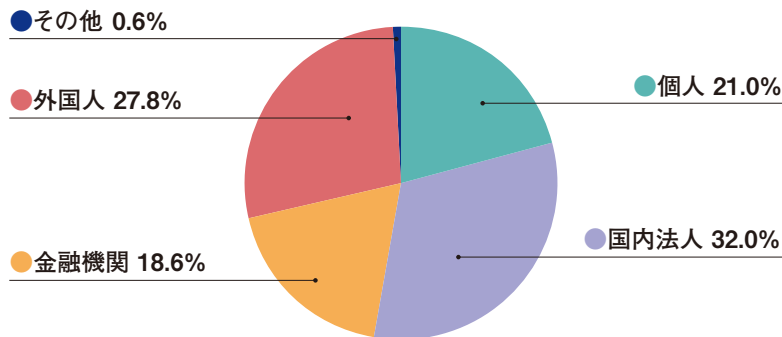
## 株式の状況 (2014年6月30日現在)

発行可能株式総数	112,860,000株 (7月1日以降、338,580,000株)
発行済株式の総数	31,667,020株 (7月1日以降、95,001,060株)
単元株式数	100株
株主数	3,815名

### 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)	持株数(株)	持株比率(%)
大塚装備株式会社	9,788,330	30.91	—	—
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,512,900	4.77	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,438,200	4.54	—	—
大塚商会社員持株会	1,005,920	3.17	—	—
大塚 裕司	946,980	2.99	—	—
大塚 厚志	945,950	2.98	—	—
大塚 実	945,490	2.98	—	—
大塚 照恵	645,500	2.03	—	—
サジャップ	626,300	1.97	—	—
シービーエルデーエヌスタンダードライフアシュアランスリミテッドペンションファンズ	334,400	1.05	—	—

### 所有者別株式分布状況(株式数ベース)





## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
定時株主総会	毎年3月
基準日 配当金受領株主確定日 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	毎年12月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日 毎年12月31日及び中間配当金の支払いを行うときは6月30日 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先  (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル:0120-782-031
公告掲載	大塚商会ホームページに掲載 <a href="http://www.otsuka-shokai.co.jp/corporate/ir/stocks/public_notice/index.html">http://www.otsuka-shokai.co.jp/corporate/ir/stocks/public_notice/index.html</a>

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4 TEL. 03-3264-7111  
<http://www.otsuka-shokai.co.jp>

